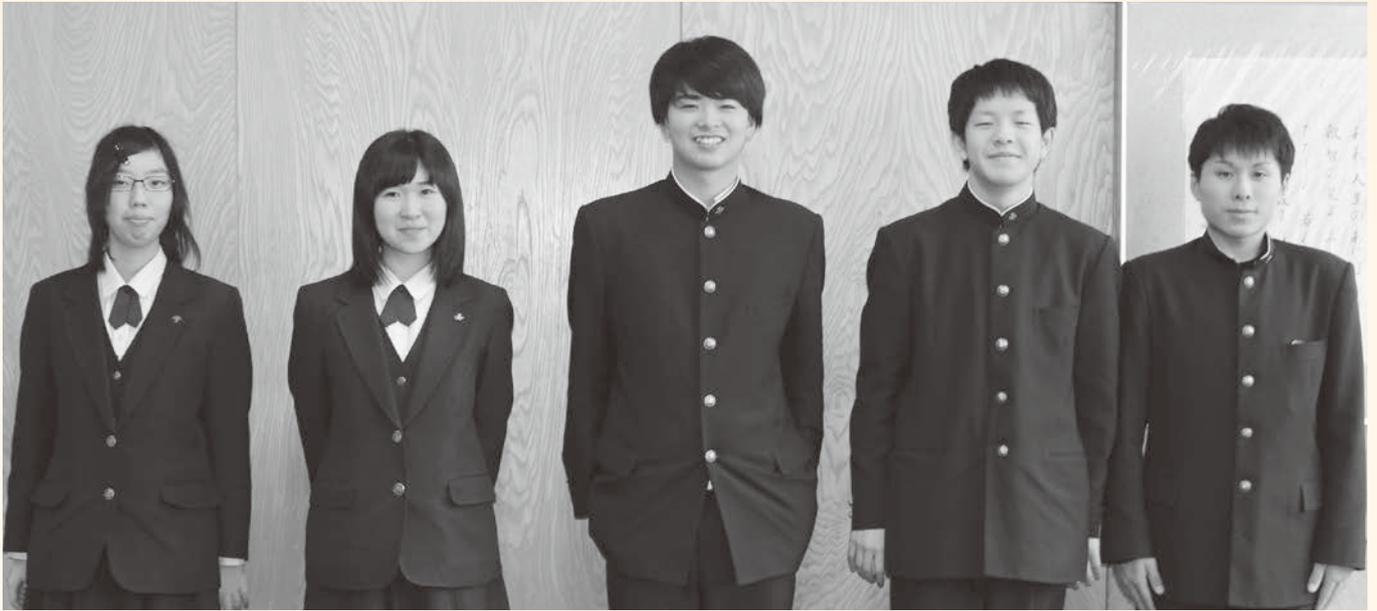


◆今月の特集は、11月23日に函館市で開催された「第2回はこだて学生政策アイデアコンテスト（一般社団法人はこだて地方創生研修会主催）」にて、「優秀作品アイデア賞」を受賞した福島商業高校の「課題研究ふるさと班」の5名の生徒を取材しました。



▲左から 坂本菜緒さん、梅澤萌さん、對馬颯太君、太田起雅君、梅澤葵君

「はこだて学生政策アイデアコンテスト」とは？

高校生や大学生がまちづくりや地域活性化のアイデアを競うコンテストです。

このコンテストは今年で2回目の開催となり、11月23日（木）に北海道教育大学函館校で開催され、高校4チーム、大学8チームが参加した中で、福島商業高校課題研究ふるさと班は高校生以下の部では最優秀となる「優秀作品アイデア賞」に輝きました。

課題研究の内容は？

坂本さん、梅澤さん、對馬君、太田君、梅澤君の5名は高校の課題研究の授業で「ふるさと班」を組み、「福島町の文化と伝統を紹介し、地域おこしにつなげることで町を元気にしたい」をテーマに7月から政策づくりに取り組みました。



▲12月21日に行われた学習成果発表会の様子

この政策は、福島大神宮例大祭と松前神楽のブランド化と「ちょこっと暮らし」体験を組み合わせたもので、町外の人を対象に、イカ祭りから例大祭までの1カ月間、町内に滞在して漁業や農業、各種イベントのモニター体験などを楽しんでもらい、移住・定住に結び付ける内容となっております。